

会議議事録

会議名	2020年度第1回くすり・調剤分野教育課程編成委員会
対象学科	くすり・調剤事務科
開催日時	2020年8月27日(木) 15:00~17:00
場所	本校 406 教室
出席者 (敬称略)	<p>1. <u>外部委員</u>：計2名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・篠原陽子（一般社団法人日本チェーンドラッグストア協会 ヘルス・アンド・ビューティケア人材育成センター事務局長） ・三上真理子（株式会社ツルハ人材採用部係長） <p>2. <u>本校委員</u>：計4名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・橋本正樹（校長） ・中村博臣（くすり・調剤事務科学科長） ・結城久美子（くすり・調剤事務科教員） ・宮下明久（事務局長） <p>3. <u>オブザーバー</u>：計1名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渋谷大樹（鍼灸医療科教員） <p>4. <u>事務局</u>：計1名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松本晋圭 <p style="text-align: right;">（合計8名）</p>
欠席者	なし
配付資料	<p>1. <u>事前送付</u>：</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 資料1：2020年度くすり・調剤事務分野教育課程編成委員会名簿 (2) 資料2：職業実践専門課程について (3) 資料3：実践的かつ専門的な職業教育の教育課程編成に関する細則 (4) 資料4：教員の研修に関する細則 (5) 資料5：2020年度校務分掌組織図 (6) 資料6：2020年度の重点目標と達成するための計画・方法 (7) 資料7：くすり・調剤事務科の概要 (8) 資料8：2019年度学科運営計画 (9) 資料9：2019年度くすり・調剤事務科カリキュラム (10) 資料10：2019年度くすり・調剤事務科講義要項（冊子） (11) 資料11：2019年度くすり・調剤事務科教員研修計画 <p>2. <u>当日配付物</u>：</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 2020年度学生生活ガイド (2) 2020年度講入学案内書 (3) 2020年度募集要項 <p>3. <u>当日回覧資料</u>：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育研究 2019
委員長	橋本校長

<p>議題等</p>	<p>1. <u>校長挨拶</u>：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・橋本校長より、新型コロナウイルスの感染拡大はいまだに予断を許さない状況が続いている。本校においても今年の3月以降、卒業式、入学式が中止となった。4月に急遽オンライン授業を準備し、5月の連休明けから一部で双方向のオンライン授業を開始した。6月には一部分割クラス、分散登校による対面授業が始まり、ようやく7月から専門家の先生のお墨付きを得た上でほぼ全面的に対面授業を開始した。今のところ感染者は1人も出ていない。 ・一方、今は熱中症対策を優先し、会話をしない場合はマスクを外してもよいことにしている。本校は医療と福祉の専門学校なので、学生には感染防止対策についても正しい知識を持って、堂々と社会で活躍していただきたい。 ・この委員会は、専門家の視点から教育について意見をいただく場である。本校の教育の現在、未来について貴重なご意見を賜りたい、との挨拶が行われた。 <p>2. <u>委員紹介</u>：資料1</p> <p>(1)事務局より本校委員紹介</p> <p>(2)外部委員自己紹介</p> <p>事務局より、本校委員及びオブザーバーの紹介が行われた後、篠原委員、三上委員より自己紹介があった。</p> <p>(3)資料1の名簿はホームページに掲載するので修正の有無を確認したところ、修正の申し出はなかった。</p> <p>3. <u>教育課程編成委員会の役割と今年度の進め方について</u>：資料2～4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮下事務局長より、資料2～4に基づき説明が行われ、確認、了承された。 ・詳細は別紙のとおり。 <p>4. <u>本校の教育及び学校運営について</u>：資料5、6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・橋本校長より、資料5、6に基づき説明が行われ、確認、了承された。 ・詳細は別紙のとおり。 <p>5. <u>くすり・調剤事務科について</u>：資料7～11</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中村学科長より、(1)資料7：くすり・調剤事務科の概要、(2)資料2：学科運営、(3)資料9、10：カリキュラム、(4)資料11：教員研修について、それぞれの資料に基づき説明が行われ、確認、了承された。 ・詳細は別紙のとおり。 <p>6. <u>次回日程</u>：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、次回の日程調整が行われ、2021年2月18日（木）午後1時30分から開催することが決定した。
------------	---

以上

2020 年度第 1 回くすり・調剤分野教育課程編成委員会の主な討議内容

議題 3. 「教育課程編成委員会の役割と今年度の進め方について」の詳細：

(1) 宮下事務局長より、資料 2～4 に基づき以下の説明が行われた：

①教育課程編成委員会の役割

- ・くすり・調剤事務分野の業界や企業の状況を伺い、教育内容に反映していく。

②委員会のスケジュール

- ・年 2 回行う。通常は第 1 回目が 7 月、第 2 回目を 2 月ごろに実施の予定。

③職業実践専門課程との関連

- ・職業実践専門課程は文部科学省が認定するもので、本委員会はその認定要件の 1 つになっている。
(企業等と連携体制を確保して、授業科目等の教育課程を編成する)
- ・研修についても、企業等と連携して、教員に対し、実務に関する研修を組織的に実施することが求められている。

(2) 橋本校長より、以下の補足説明が行われた：

- ・職業実践専門課程は専門学校教育の質保証という面もあり、東京都から 1 人につき 4,000 円の助成金が出るようになった。お金を出すからには質の裏付けが求められることになる。

議題 4. 「本校の教育及び学校運営について」の詳細：

(1) 橋本校長より、資料 5：2020 年度校務分掌組織図、資料 6：2020 年度の重点目標と達成するための計画・方法に基づき以下の説明が行われた：

①TPC の育成と強化

- ・自ら学ぶ姿勢を身につけるための要素として、考える力 (Think)、積極性 (Positive)、対話力 (Communication) の頭文字を取って、TPC の能力の育成を重点目標としている。今年はコロナの影響でオンライン授業が始まったが、これをきっかけにアクティブ・ラーニングを推進していきたい。

②学び直し等の教育プログラムの開発

- ・本校の立地を生かし、夜間・休日の講座など社会人の学び直しの場合、外国人の教育などの取り組みを積極的に展開していきたい。

③ビジョンの共有とアクションプランの策定

- ・教職員が視点を一段高く持って、協働していく。

議題 5. 「くすり・調剤事務科について」の詳細：

(1) くすり・調剤事務科の概要：資料 7

- ・中村学科長より、資料 7 に基づき以下の報告が行われた：

①登録販売者制度の開始とともに、2009 年 4 月に開設された。

②当初は「医薬・健康・美容科」という学科名でスタートした。2011 年度から現在の名称に変更した。

- ・くすり・調剤事務科についての質問・意見等：

質問・意見等	回答等
--------	-----

<ul style="list-style-type: none"> ・本人の希望で入学するのか親の勧めなのか。 ・登録販売者は、就職するにはよい資格だと思う。人と接する仕事なので、それをやりがいに感じられればと思う。 ・高校生は登録販売者という名前すら知らない。公的資格が取れること、健康を身近でサポートできることのやりがいを伝えることと、先輩と直接話ができれば広がりそうな気がする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の先生に勧められたという理由がもつとも多い。 ・オープンキャンパスに来る人が圧倒的に少ないので、その良さを知ってもらうことが難しいが、広報室と打ち合わせをして、ホームページ、募集パンフレット、オープンキャンパスでの授業体験などを通して、登録販売者の知名度を、今後も上げていきたい。
--	--

(2) 学科運営：資料 8

- ・中村学科長より資料 8 に沿って質問を受ける形で進めたが、特段の質問はなかった。

(3) カリキュラム：資料 9、・10

- ・中村学科長より資料、以下のとおり詳細な説明が行われた。
- ・登録指定科目の中に、大きく基礎科目、専門科目、関連科目の 3 つがある。
- ・授業形態は、講義、演習、実習の 3 つに分かれ、講義と演習は 2 単位、実習は 1 単位となる。

1 年生： 基礎科目	<ul style="list-style-type: none"> ・「<u>書く技術・伝える技術</u>」：報告、連絡、相談ができることを目的にスタートした。来年は 1 科目にして、半分を SPI にしてはどうかと考えている。 ・「<u>パソコン演習 I、II、III、IV</u>」：I がワード、II はエクセルと一部パワーポイント、III、IV はプレゼンテーション練習という形で 2 年間やったが、III と IV で時間が余りぎみなので来年に向けて考えたい。 ・「<u>サービス接遇 I、II</u>」：サービス接遇検定へのチャレンジと、敬語の使い方などを身につけるために必要な内容なので継続したい。 ・「<u>キャリアデザイン I、II、III、IV</u>」：ホームルー的な要素と就職支援の要素がある。
1 年生： 専門科目	<ul style="list-style-type: none"> ・「<u>応対の技術</u>」：ドラッグストア勤務の方を講師にして、生きた応対の仕方を学んでいる。 ・「<u>人体の構造</u>」、「<u>医薬品の安全学</u>」、「<u>医薬品の作用 I、II、III</u>」、「<u>医薬品の関連法規</u>」、「<u>薬の働きと副作用</u>」：登録販売者の試験に必要な科目で、1 年間で一通り学ぶ。 ・「<u>食品栄養学 I、II</u>」：健康の維持、食生活、食事と運動などを学ぶもので、必要性を感じている。 ・「<u>調剤事務 I、II、III、IV、V</u>」：調剤事務の検定が、2 年次 5 月であることから、来年度は、2 年後期の調剤事務 V（パソコンによる調剤事務）はなくし、調剤事務 IV の授業後半でパソコンを使った授業とする。 ・「<u>病気とヘルスケア</u>」：登録販売者試験対策テキスト第 3 章で医薬品の主作用、副作用、薬理学を学ぶが、第 3 章に記述のある病気について、詳しく解説をしている。 ・「<u>漢方の知識</u>」：ここ数年、生薬と漢方の問題が増えているので、毎週テストで徹底的に教えている。 ・「<u>校外見学 I</u>」：後期で 3 カ所見学に行く。

	<ul style="list-style-type: none"> ・「<u>ビューティケア基礎・専門知識</u>」、「<u>美容・肌の基礎知識</u>」：来年度からは、いままでのビューティケア試験とは別の資格試験を受けるので、内容が変わる可能性がある。 ・「<u>美容実習Ⅰ、Ⅱ</u>」：2人ペアになって、互いにメイクをし合う。
1年生： 関連科目	<ul style="list-style-type: none"> ・「<u>POP 広告デザイン演習</u>」→ドラッグストアなどではPOPを作る機会が多いので、デザイナーに頼んで演習を行っている。
2年生： 基礎科目	<ul style="list-style-type: none"> ・「<u>書く技術・伝える技術</u>」→削除した。 ・「<u>パソコン演習Ⅲ、Ⅳ</u>」：来年度は削除し、1年生の前期（Ⅰ）・後期（Ⅱ）のみとした。
2年生： 専門科目	<ul style="list-style-type: none"> ・「<u>調剤事務Ⅲ、Ⅳ</u>」：2年生の前期に移し、調剤事務Ⅴは削除した。 ・「<u>主な医薬品の薬理学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ</u>」：販売登録者の試験に向けて、1年生で勉強したものをもう一度、詳しく勉強する。東京都の登録販売者試験が非常に難しいので、ここでは徹底的に過去問題を解くことにも取り組んでいる。 ・「<u>サプリメントアドバイザーⅠ、Ⅱ</u>」→ヘルスケアアドバイザーに代わる資格として勉強しているが、内容は非常に難しい。 ・「<u>販売士Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ</u>」→企業で働くうえで必要となるマーケティング知識を中心に学ぶ。 ・「<u>ドラッグストアのマネジメント</u>」：私の経験を通して教えているが、来年は「販売士」のところに入れようと思っているので、削除を予定している。 ・「<u>OTC薬の基本と対応技術</u>」：登録販売者に合格しても、お客さんの質問に答えられないという話をよく聞くので、生きた知識を教えている。 ・「<u>医療保険制度の仕組み</u>」：「介護保険制度の仕組みと流れ」の中に入れる予定。 ・「<u>校外見学</u>」：2年の後期に3カ所で実施。 ・「<u>化粧品の成分学</u>」、「<u>レベルアップメイクⅠ、Ⅱ</u>」、「<u>トータルビューティ</u>」、「<u>社会人としてのマナー&コミュニケーション</u>」：内面からの美しさがあふれ出るように、美容の先生に幅を広げて教えてもらう。
2年生： 関連科目	<ul style="list-style-type: none"> ・「<u>手話Ⅰ、Ⅱ</u>」：さまざまなコミュニケーション手段の一つとして、ドラッグストアで役に立つ手話を教えている。 ・「<u>病院の仕組みと流れ</u>」：調剤薬局と病院との関連を教えている。 ・「<u>介護レクリエーション演習</u>」：精神的、肉体的に疲れたお年寄りを運動、娯楽を通じて元気にさせるレクリエーションという資格に向けて、初めて導入する。

・カリキュラムに対する質問・意見等：

質問・意見等	回答等
--------	-----

<ul style="list-style-type: none"> ・登録販売者のために詰め込みで覚えた医薬品の名前と、その薬理や病気、症例との結びつきができれば、理解が深まってくるのでよいと思う。 ・高齢化社会なので、手話は役に立つ。高齢者に対する話し方の勉強も必要。 ・介護関係の基礎的な知識、コミュニケーションの取り方も必要。グループワークを取り入れて、よい例、悪い例などについて話し合ってみるのもよいのではないか。 ・今は感染症が話題になっているので、うがいの仕方、手の洗い方などもどこかの授業に入れていただくとよい。 ・語学ができると外国人の方に喜んでいただけるのとコミュニケーションのきっかけとなる。カリキュラムへの導入を検討しているが、どの言語がよいか悩んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それに近いのが「OTC薬の基本と応対技術」になる。ここに症例を入れることを考えてい。 ・「病院の仕組みと流れ」の中で、車椅子体験、目が見えない方、難聴の方の立場に立った体験をさせて、気持ちに寄り添えるようにしている ・「介護レクリエーション」の先生にお願いしてもよい。 ・グループワークは「キャリアデザイン」でもやっている。授業の中でも取り入れていきたい。 ・今はアルバイト自体に外国人が増えているのと、携帯で翻訳もできるので、特になくてもよいのではないかと。中国語か英語かとなると、個人的には英語だと思う。
---	---

(4) 教員研修：資料 11

- ・中村学科長より、今はコロナで開催が延期になるなど、研修に参加できない状態であるとの報告があった。

(5) その他：

- ・特になし

以上